☆★☆ 日本測量者連盟ニュースレター　　2026 年　7 月 28 日☆★☆

日本測量者連盟会員の皆様

日頃より、日本測量者連盟の活動に、ご理解、ご支援いただきましてありがとうございます。
FIG よりメッセージが届きましたので会員の皆様に展開いたします。

FIG ニュースレター 2026 年 5 月/6 月号 - FIG からのニュースをお届けします – 今号はレポートと特別募集
原文（英文）をご覧になりたい方は、ブラウザでこちらにアクセス
国際測量者連盟　FIG

このニュースレターには、レポート、特別募集、一般情報など、皆様への情報が満載です。5 月末に南アフリカのケープタウンで開催された大会の報告書をご覧ください。素晴らしいレガシープロジェクト、力強い全体会議、その他刺激的な活動などで、とても成功裏に終わった充実のイベントでした。総会報告書には選挙結果、次期会長の選出結果が掲載されています。その他のイベントに関する報告書も含まれています。
今号では募集がいくつかあります。測量者の倫理原則とモデル規範に関する意見募集があり、アンケートと 7 月に開催されるウェビナーがあります。ご自身のタイムゾーンに最適なオンライン会議を探してください（訳注：ウェビナーは終了しました）。LADM に関する意見募集とアフリカにおけるメンターリング・プログラムに関する意見募集が開始されました。FIG 会長は、FIG の歴史の節目と FIG 会員のリーダーシップを称えるための呼びかけを発出しています。そして FIG 作業週間の要旨投稿募集がついに開始されました。FIG の多くの成果と多くの活動、そして願わくは皆様の多くの活動も期待しています！

FIG からのお知らせ
FIG 総会 2026 - 報告書
ケープタウンで開催された総会には、65 の会員協会とオブザーバーが出席し、FIG の新指導部が選出され、各報告が行われました。選挙およびその他の総会活動の詳細についてはこちらをご覧ください。
総会報告
選挙 – 各投票ラウンドの結果

南アフリカは世界を歓迎します – FIG 大会 2026 報告
約 1,400 名の参加者がケープタウンに集まり、プレイベント、4 日間の会議、セッション、ネットワーキング、その他多くの活動を含む FIG 大会本会議が開催されました。
続きを読む

意見募集：測量者のための倫理原則とモデル行動規範
FIG は皆様のご協力を求めます。アンケートへのご回答とオンライン会議へのご参加をお願いいたします。ご都合の良い地域会議をご確認ください。会議は 2026 年 7 月に開催されます（訳注：会議は終了しました）。
続きを読む...

FIG 財団創立 25 周年 — そして、皆様のご寄付がこれまで以上に重要な理由

FIG 財団設立から最初の 25 年間の節目を振り返る歴史概観を通して、思い出の道を辿ってみませんか。そして、持続可能な未来を築く次の 25 年間に、あなたがどのように貢献できるかについてもご紹介します。

続きを読む...

FIG 会員の歴史の節目とリーダーシップを称える呼びかけ

ダイアン・デュマシーFIG 会長は、皆様に行動を呼びかけています。過去 4 年間に貴協会は節目となる出来事を祝いましたか？あるいは 2020 年代が終わる前に祝う予定はありますか？もしそうであれば、ぜひお知らせください。

続きを読む...

ポーランドが FIG 加盟 100 周年を祝う

1926 年、ポーランドの会員協会である SGP が FIG の会員となりました。この特別な出来事は、ダイアン・デュマシーFIG 会長とルイーズ・フリス＝ハンセン局長の出席のもと、ポーランドのヴロツワフで祝われました。

続きを読む...

FIG 会長が 2 つの主要な地理空間 2026 年イベントに参加：地理知識、ビジネス及び標準における FIG の意見表明に貢献

ダイアン・デュマシーFIG 会長は、アムステルダムで開催された地理空間世界フォーラム（GWF）とロンドンで開催された GEO ビジネスという 2 つの主要な国際地理空間イベントに FIG を代表して参加しました。これらのイベントは、FIG の戦略的優先事項を提唱し、FIG 会員を支援し、急速に変化する地理空間エコシステムとの連携を図るための重要なプラットフォームとなりました。

続きを読む...

フィリピンのコンベンションは、革新性、誠実さ、そして次世代の台頭を強調

FIG 副会長のウィニー・シウ上級教授は、フィリピン測地技術者協会（GEP）の第 51 回全国理事会会議および大会に出席しました。

続きを読む...

新規 FIG 出版物

気候変動耐性に向けた測量：実践的な気候変動対策 -出版物第 85 号

この新刊は、陸上・水域・海洋測量にまたがり、気候変動耐性の推進における測量専門家の重要な役割を強調するとともに、16 の主要な気候変動対策を通じて、国および地域レベルでの気候変動適応、影響緩和、災害強靭化を支える実践的な戦略と実例を提供します。

続きを読む...

STDM 概念モデルの実践：土地所有権の格差を解消し、世界の土地問題への対応を目指す – 出版物第 86 号

「社会的な土地保有権ドメインモデル（STDM）」は、土地権利の連続体系における非公式な権利や慣習的な権利を含め、人と土地のあらゆる関係を認識・記録することで、従来の土地管理システムの課題に対処するために設計された、革新的な概念、モデル、および情報ツールです。

続きを読む

目的に適合した土地管理：現状、成功事例、および拡大 – 出版物第 87 号

FFPLA（Fit-for-Purpose Land Administration）は、過去 10 年間で「ゲームチェンジャー」として台頭してきました。これは、すべての人々のための確実な土地権利を確立するための、

柔軟で、実現可能かつ包括的なアプローチです。本出版物は、FIG と世界銀行によってこの概念が初めて提唱されてから 10 年を迎えるにあたり、FFPLA の現在の位置づけと、今後進むべき方向性を総括するものです。
詳細はこちら
女性の土地の権利の推進：測量者およびその他の土地専門家への 10 のコミットメントを通じた行動への呼びかけ – 新規 FIG 出版物第 89 号
土地の権利が記録される際、女性はあまりにも頻繁に地図から抜け落ちています。FIG 出版物第 89 号は、測量者や土地専門家に対し、一つずつ着実に、この状況を変えていくよう呼びかけます。
続きを読む...

今月の記事
2026 年 5 月/6 月の今月の記事は、FIG 大会 2026 で発表された論文「深層学習アルゴリズムを組み合わせた高解像度 UAV 画像に基づく海洋プラスチック廃棄物の分類 — スリランカの事例研究」です。この論文は、ボスニア・ヘルツェゴビナのゴルダナ・ヤコヴリェヴィッチ博士、スリランカのエランダ・グナティラカ博士、ニュージーランドのサイモン・アイアンサイド氏による執筆です。この論文では、高解像度 UAV 画像と深層学習アルゴリズムを用いた、プラスチックやその他の海洋ゴミのマッピング、分類、モニタリングのための革新的なアプローチを紹介しています。特に、廃棄物管理能力の限界、国境を越えた汚染、観光業や漁業への依存といった理由から海洋ゴミに対して脆弱な島嶼国に重点が置かれています。詳細はこちら

FIG 作業週間 2027
ノルウェー・スタヴァンゲル、2027 年 5 月 23 日-27 日
FIG とノルウェーの現地主催者は、スタヴァンゲルで開催される FIG 作業週間 2027 に皆様をご招待いたします。会議は 5 月 24 日から 26 日まで、プレイベントは 23 日と 24 日に開催され、FIG 総会は 5 月 23 日と 27 日に開催されます。
論文要旨募集
プログラムへの参加を検討する時期が来ました。以下の分野について要旨を提出できます。
- 査読付き論文 - 要旨と論文全文を 2026 年 10 月 1 日までに投稿してください
- 通常要旨 - 2026 年 11 月 1 日までに要旨を投稿してください
- ポスター発表 - 2026 年 11 月 1 日までに要旨を投稿してください

テーマの詳細はこちら | 募集要項はこちら
スポンサーまたは出展者としてアピール
組織や企業の認知度を高めましょう。スポンサーシップを追加することで、さらに認知度を高めることができます。この機会をご確認ください。早期予約で、ご希望のブース位置を確保できるというメリットがあります。
- スポンサーシップの可能性を確認してみましょう
- 展示会の機会
- スポンサーシップおよび展示会概要（PDF）

参加するメリット
- 80〜90 カ国からの参加により、グローバルに学び、情報を共有する
- 幅広い分野の専門家によるセッションや発表により、専門分野、文化、世代、セクター、職業の枠を超えたネットワークを構築する
- キャリア、組織、コミュニティにインパクトを与える
- 集中して、共同作業に専念できる、邪魔の入らない現場での時間を楽しむ

作業週間に関する詳細情報：www.fig.net/fig2027

LADM 第 6 部（実装）ユーザーアンケート
オープン地理空間コンソーシアム（OGC）LADM 標準ワーキンググループ（SWG）は、最終的に土地管理ドメインモデル ISO 規格のパート 6（ISO 19152-6）となる実装面を作成する任務を負っています。
この規格が実用的かつ効果的であることを保証するためには、LADM を既に導入している、または今後導入する予定の現場技術者の皆様からのご意見が必要です。皆様の経験から学び、皆様の期待を理解することは、LADM パート 6 の成功にとって非常に重要です。このアンケートは所要時間約 15 分で、LADM に関心のある方ならどなたでもご回答いただけます。
アンケートはこちらから開始

アフリカのためのメンタープログラム
2026 年分の応募受付を正式に開始しました。今すぐ応募を！

今後のイベント
2026 年 8 月 18 日～19 日、マレーシア、クアラルンプール
第 18 回東南アジア測量会議
主催：マレーシア公認土地測量者協会（PEJUTA））、FIG 後援
本会議は、持続可能な開発と効果的な土地管理を支援するための知識、ベストプラクティス、イノベーションを共有するプラットフォームを提供することを目的としています。
https://seasc2026.aseanflag.org/
2026 年 9 月 7 日～11 日、ドイツ、ボン
ボン大学にて開催されるサマースクール 2026「TLS-Defo：インフラの高度なモニタリング」。
修士課程および博士課程の学生を対象。
詳細情報：
チラシ
ウェブサイト
応募締切：2026 年 4 月 29 日

2026 年 9 月 15 日～17 日、Intergeo、ミュンヘン
ウェブサイト：https://dvw.de/intergeo/en

2026 年 9 月 28 日～10 月 2 日、ブルガリア、ソフィア
合同イベント：
* 9 月 28 日～29 日：第 21 回国際 3D 地理情報会議 2026。
* 9 月 29 日～10 月 1 日：第 10 回国際スマートデータおよびスマートシティ（SDSC）会議 2026。
* 10 月 1 日～2 日：第 14 回「土地管理ドメインモデル（LADM）および 3D 土地管理」に関する国際 FIG ワークショップ 2026。FIG ワークショップの詳細はこちら
主催：スマート社会のためのビッグデータ（GATE）
合同イベントに関する詳細情報はこちら

2026 年 10 月 13 日、ギリシャ、アテネ
第 7 回 BIM カンファレンス。ギリシャ行政経済運営総局技術会議所、広報・国際・欧州総局による主催。
詳細情報

2026 年 10 月 13 日〜16 日、カナダ アルバータ州、カルガリー
IAAO 年次総会 2026
詳細情報
10 月 13 日〜16 日：イタリア、シチリア島、ラグーザ
FIG 第 9 分科会ワークショップおよび年次総会
テーマ：「不動産モデリングの新時代：AI からインテリジェンスへ ― 強靭で透明性の高い不動産システムを目指して」
同時通訳あり
詳細はこちら（PDF）
2026 年 10 月 28 日〜30 日、トルコ、イスタンブール
FIG & UNECE WPLA 国際会議
主催：
トルコ測量技術者評議会
土地登記・地籍総局
FIG 第 2 分科会 - 専門職の教育
FIG 第 7 分科会 - 地籍測量と土地の管理
FIG 第 9 分科会 - 不動産の評価と管理
国連欧州経済委員会（UNECE）土地管理作業部会
申し込み締切と会議情報： 詳細情報
2026 年 11 月 5 日〜6 日、ブルガリア、ソフィア
第 36 回 測地学及び関連分野における現代技術、教育及び専門的実践に関する国際シンポジウム
主催：ブルガリア測量者及び土地管理者連合ほか、FIG 後援
詳細情報
2026 年 12 月 7 日〜11 日、米国サンフランシスコ
AGU 年次総会：IGS による特別セッション
国際 GNSS 事業は、セッション「次世代 GNSS データ処理・解析技術を活用して測地学の未来を確保する」の発表要旨を募集しています。
詳細情報

日程をお忘れなく
FIG 作業週間 2027、ノルウェー、スタヴァンゲル：2027 年 5 月 23 日〜27 日 - www.fig.net/fig2027
FIG 作業週間 2028、フランス、パリ - FIG 150 周年を祝う：2028 年 6 月 24 日〜28 日- www.fig.net/fig2028
FIG 作業週間 2029、カナダ、ノバスコシア州ハリファックス、2029 年 5 月 27 日〜31 日 - www.fig.net/fig2029
FIG 大会 2030、中国・青島（日程未定）

以上、よろしくお願いします。
国際測量者連盟　局長
ルイーズ・フリス＝ハンセン
louise.friis-hansen@fig.net
www.fig.net